



輝いている人

もっと強くなりたい
夢は世界チャンピオン

ムエタイやキックボクシング、極真空手といった格闘技に励み、全日本グローブ空手選手権大会を2連覇し、全日本グローブ空手道連盟の平成23年度中学生1年の部でランキング1位を獲得したのが馬木樹里さん(総社中学校2年)だ。

ランキングは全日本グローブ空手選手権大会優勝など数々の格闘技大会で収めた優秀な成績が加味されたもの。「結果が残せてよかった。これからは首位は死守したい」と喜びを表す。

格闘技を始めたのは5歳。極真空手の体験に行き、自分からやりたいと言ったそう。 「筋がいいと褒められたのがきっかけ」と語る。ムエタイとキックボクシングを本格的に始めたのは小学6年生から。「K-1を見て憧れた」とも。

心に残っている大会は2

月にあった「決戦」という大会。ランキング上位同士が戦い、真のチャンピオンを決めるもので、1歳年上の相手に惜しくも敗れチャンピオンを逃した。「今度は絶対勝つてやる」という気持ちになった」と、より練習にやる気が出たという。

得意技はKOを何度か奪ったことがある膝蹴り。「決まったら気持ちいい」と、自慢の膝蹴りを見せてくれた。

週1日市武道館で極真空手を、週4日倉敷市水島のジムでムエタイとキックボクシングを練習。弟の愛里くんも同じジムへ通う。「負けたくない」と、互いに高め合える良い関係だ。

将来の夢は「世界チャンピオン」ときっぱり。「もっと強くなるために努力を惜しまない」と飽くなき向上心を見せる。

馬木樹里さん(清音三因)

全日本グローブ空手道選手権大会で2連覇
平成23年度学年別ランキング1位

このコーナーでは、輝いている人を募集しています。あなたの周りにキラッと輝いている人がいたら、ぜひとも広報そうじや編集室(企画課)までご一報ください。自薦・他薦は問いません。

さあ、はじめよう!

思いやりの心

「人が困っていると、助けたいと思う心」、「人が悲しんでいると、力になりたいと思う心」、「人が喜んでいると、いっしょに喜びたい心」。人は、だれでもそんな心をもっています。思いやりの心です。

「どうしたら、あの人のためになるかな」と考えます。それが、あなたの中で目を覚ました温かい心。それが、あなたのなかで動き始めた思いやりの心なのです。

右の写真のように、春から中学生になる小学6年生に、中学校生活での不安や疑問を少しでも解消してあげようと、やさしく笑顔で分かりやすく説明する中学生。こんな気持ちを、日常的にもちたいものです。

あなたの思いやりの心を待っている人がきっといます。友だち、お家の人、近所の人など、いっぱいいます。自分らしい思いやりの心をだれかに届けて、まわりの人も自分も、笑顔でいっぱいになりたいですね。

問い合わせ 学校教育課 (☎92-8358)



推進啓発ポスター



卒業を間近に控えた3月8日、常盤小学校6年生が総社中学校3年の4人に中学校生活について尋ねた。6年生は、授業や部活動、宿題、家庭学習、服装など不安や疑問に思っていることを質問。4人は一つひとつ丁寧に、安心感を与えるように答えていた。

季節の絵本!

『かえうた かえうた こいのぼり』
石井 聖岳(いしい きよたか) 作
講談社



今日のテーマ 「こいのぼり」

「やねよりたかい こいのぼり」の『こいのぼり』の歌は、皆さん知っていますよね。左の絵本では、とらのこ3兄弟は、こいのぼりを準備するお父さんを見て、大喜び。そして、いろんなかえうたが登場します。

現在の「こどもの日」は、性別に関係なく子どもの成長を祝う日。元気に泳ぐこいのぼりを見ながら、家族で菖蒲湯に入ったり、ちまきや柏餅を食べたりして楽しんでみてはいかがでしょうか。